

今月の紙面

- 2面 クホジュンが来た!
- 3~5面 新月祭 '03 フレイバック
- 6面 関学PR
- 7面 エッセイ・就職活動に思う
- 8面 クリスマス特集



■発行■
 関西学院大学新聞総部
 西宮市上ヶ原1番町1-155
 関西学院大学新学生会館3F
 電話(0798)51-1181☎662-0891
 三田支局
 三田市学園二丁目1番地
 ☎669-1337

扉の一言

面白きこともなき世を面白く
 高杉晋作

2003年12月15日 第751号

「化学は美しく」

ノーベル化学賞受賞者 野依良治氏が講演



毎年恒例のクリスマスツリーも、今年から一新(写真上)
 なお、クリスマス関連記事は8面に掲載しています

11月29日、2001年ノーベル化学賞受賞の野依良治氏を招いての講演会「憧れと感動、そして志」が行われた。会場は神戸三田キャンパスのII号館で、450人収容可能な大教室はいっぱいになり、また学生以外の聴衆も大勢訪れた。パネルを使つての野依氏の講演内容もわかりやすく、時折ユーモアも交えつつの話は聴衆を満足させていた。

自分の研究の信念について「化学とは美しく、面白く、そして人類社会に貢献するもの。40年間、私はそれを信じてやってきた」と述べた。また化学という概念を「ゼロから有を生み出す技術である。化学の一番大きな力はどんな分子であっても、それを化学者の知識で作り上げられること」と話した。またその後、自らの研究も例に挙げながら、分子における左右(キラリティー)という理論を説明する場面もあった。

化学への研究姿勢について野依氏は「研究において大事なのは質である。競争目的で行われがちだが、本来は自分の研究が尊重されるべき。だが、日本では量をもって質に代えるという風潮がある」と語り始めた。

49年湯川秀樹がノーベル物理学賞を受賞したこと。その



ことばはまだ小学生だった野依氏に、憧れと同時にある種の親しみを覚えさせた。その後、ナイロンは石炭と水から生み出されるという事実を知り、有を生み出すことの感動をおぼえたという。そして、ピニロンを発明者である櫻田一郎に憧れて京大工学部に入り、大学院まで進み、教授の助手

となったという。ここで学者への道を選択したことは後になって考えるとき大きな転機になったと語る。

また、「自然科学の研究の問題+解答」と語り、現在の社会的な問題として、「問題を作らない」ことだと述べた。例えば、学校教育では先生に言われた問題を解く、大人になつてからは上司に指示された仕事をこなす、それが日本人の一般的な姿であるという。化学者の姿勢として「自分で問題を作りだして、その解答を自ら導き出す。そうすることで、必ず高い評価を得られるはずだ」と野依氏は力強く語った。

その後、現代世界の抱える矛盾や、日本文化の衰退について述べた上で、最後に「21世紀は人間性への回帰に向けた協力を。真つ当な自然観、社会観を以て人生観が重要だ」と語った。

陪審員制度について考えよう

12/20 丸田ゼミ模擬陪審裁判開催

法学部丸田ゼミが日頃の研究成果を発表する場として、また市民になじみの薄い司法に触れてもらう場として、毎年恒例の行事となつてい

る模擬陪審裁判。今年12月20日(土)10時より、上ヶ原キャンパスB号館103教室にて、法学部丸田ゼミ主催、法学部学生自治会共催で行われる(入場無料)。

7回目の開催となる今回は、「電車内における迷惑行為電話を発端とした傷害事件」をテーマとして取り扱い、陪審制度・裁判員制度の両方から事件を捉える。陪審員、裁判員は一般市民から公募で選ばれる。

電車内の携帯電話使用を注意した男性が、注意を受けた男性から暴行を加えられた。逆にも重傷を負わせ、傷害

事件の被告人となる。被告人の処罰を求める検察側と、被告人の正当防衛を主張する弁護側。はたして陪審・裁判員はどのような判決を下すのか。職業裁判官を加え審理が行われる裁判員制度と、一般市民により審理が行われる陪審制度との違いが、判決に与える影響についても注目される。

また、法学部学生自治会主催で、池田直樹弁護士による講演会も予定されている。池田弁護士は、関西学院大学ロースクール(2004年4月開設予定)の就任予定教員。

「MASTERY FOR SERVICE」
 世界へ
 UNVと協定

UNVは、現在、国連情報技術サービス(United Nations Information Technology Service: UNITS)の調整機関として、開発途上国にICT(情報通信技術)ボランティアを派遣している。

協定を結ぶことでこのネットワークに入った本学は、ICT関連技術において秀でた大学関係者(主に学生、ただし教職員も含む)をボランティアとして、開発途上国のプロジェクトに直接派遣すること、開発途上国の人や組織の情報通信技術の向上に貢献する。また、情報通信技術の開発の分野に活用することに関して、知識や情報のリソースを発展させることにも貢献することが期待されている。

本学は「Mastery for Service」をスキルセットに掲げている。事実、19

五・七・五。何かと言われれば、もちろん俳句の字数である。実は、最近これにはまつているのである。表彰等には縁のない我が人生の中で、唯一、俳句は賞を取つたりもした。しかし、中学・高校と部活動に興味をもち、俳句から離れてしまつた。俳句は何故、最近またはまりだしたのか。理由は些細なことであつた。もともと、書いていて情けないが自分は普段からボケツツとしている性格であつた。人からも指摘されるにいたつて、ついに何とかなへば、と思ひ立つたわけである。では何故、俳句なのかという、俳句は常に何かに注意を向けなければならぬものであるからだ。例えば、道を歩いていたら、何も考えずに通り過ぎると見えるものはただの景色でしかない。しかし、注意して見れば空模様や道端の花など、いろいろなものに気付く。普段は見えないものの素晴らしさや意外さが見えたときは、新鮮な驚きを感じるものだ。また、自分の心の動きを詠めば、自分でも分らなかつたことが分かることもある。俳句にはいろんな派があるが、私はとにかくに気にしたことはない。ただ、俳句を作るときに気になっているのは、見たまま、感じたままで句にすること、それだけである。その逆で、句を読めばその情景が思い浮かぶ、そんな俳句を心がけている。つまり情景から句へ、句から情景へ、ということだ。日本は四季の美しい国である。それを俳句で詠むのはなかなかいい。しかし、詠んだ句を忘れてしまつては意味がない。今度は、詠んだ句をメモに取るのを面倒くさがる、このいい加減な性格を直さねば。



理工学部主催

智と智の世紀プロジェクトKKG

クボジンジュン IITを語る

11月7日、神戸三田キャンパスに「プロジェクトX」なまでの多様な使っているのは日本人だけ。欧米はまだその段階まで来ていない。日本のIIT文化は欧米よりもはるかに進んでいると言えるだろう」と話した。

浅野氏はそれに反論して「携帯電話に限らず、若者がIIT機器を予想もつかないような使い方をしていることは事実。しかし、それと同時に周囲に悪影響を及ぼすような使い方を簡単にできるようなものになった。これからは「モラル」という概念が大切になるだろう」と話した。また、「コミュニケーションする相手と顔を合わせる機会が減っている」と言われがちだが、

「携帯電話に限らず、若者がIIT機器を予想もつかないような使い方をしていることは事実。しかし、それと同時に周囲に悪影響を及ぼすような使い方を簡単にできるようなものになった。これからは「モラル」という概念が大切になるだろう」と話した。また、「コミュニケーションする相手と顔を合わせる機会が減っている」と言われがちだが、

「コミュニケーションする相手と顔を合わせる機会が減っている」と言われがちだが、

「携帯電話に限らず、若者がIIT機器を予想もつかないような使い方をしていることは事実。しかし、それと同時に周囲に悪影響を及ぼすような使い方を簡単にできるようなものになった。これからは「モラル」という概念が大切になるだろう」と話した。また、「コミュニケーションする相手と顔を合わせる機会が減っている」と言われがちだが、

「携帯電話に限らず、若者がIIT機器を予想もつかないような使い方をしていることは事実。しかし、それと同時に周囲に悪影響を及ぼすような使い方を簡単にできるようなものになった。これからは「モラル」という概念が大切になるだろう」と話した。また、「コミュニケーションする相手と顔を合わせる機会が減っている」と言われがちだが、

「コミュニケーションする相手と顔を合わせる機会が減っている」と言われがちだが、



「コミュニケーションする相手と顔を合わせる機会が減っている」と言われがちだが、

専門職大学院説明会

～'05年開設へ向けて～

プレコース及び、専門職大学院「経営戦略研究科」(05年開設予定、04年6月設置認可申請予定)についての第1回説明会が11月19日、27日に上ヶ原キャンパスで、25日に神戸三田キャンパスで行われた。

プレコース・英語教育プログラムとともに、専門職大学院の経営戦略研究科はMBA(経営管理修士)を取得できる経営戦略専攻(ビジネススクール・仮称)の2つから構成される。

ビジネススクールは企業経営戦略コースと国際経営コースの2つに分けられる。企業

「コミュニケーションする相手と顔を合わせる機会が減っている」と言われがちだが、

カナダ研究セミナー 過去最多の参加者で盛況

11月15日、16日と、上ヶ原キャンパスにおいて2003年度カナダ研究セミナーが泊2日で行われた。同セミナーは、カナダ大使館と本学との共催プログラムであり、今年度は、「Challenges of Multiculturalism(多文化主義の挑戦)」というテーマでプログラムが進められた。大学の内外から参加者を募り、カナダについての理解を深めることを目的としている。今年度も多くの参加者が

「コミュニケーションする相手と顔を合わせる機会が減っている」と言われがちだが、



グループ発表の様子

底力見せるも一歩及ばず

11月30日、長居競技場(大阪市)でアメリカンフットボール 秋季リーグ、関学対立命戦が行われた。ここまで関学は4勝2敗と優勝の可能性は既になかったが、立命の全勝優勝を阻止すべく関学ファイトアーズはラストゲームに臨んだ。

試合開始早々関学18番中島にロングパスが通る。この日の先発QBは大方の予想を裏切り14番河野。河野の起用は見事に当たり、苦戦が予想された立命デイベンズ陣を翻弄する。関学は開始わずか2分1秒で先制すると、その後、第1、第2クォーターとQB河野の自らのランでタッチダウン(TD)を奪い期待に応えた。またデイベンズ陣は、第2クォーターに、QBサックやパントブロックを決めるなど前半戦は終始関学ペースの試合展開であった。



第2クォーターでもTDを奪い、この時点で21-7とリード

「コミュニケーションする相手と顔を合わせる機会が減っている」と言われがちだが、

夢の“競”演

K.G. AWARD '03



K.G.-Capoeiraの演技

10月31日上ヶ原キャンパスの中央講堂で、新月祭'03 大学祭実行委員会企画「K.G. AWARD '03 ~ Our stage is linked with our future ~」が行われた。このイベントは、日頃関学生が行っている様々な活動の集大成を、大学祭という場で発表してもらおうという企画。

出演したのは全8組。演目も漫才から手品まで幅広いものが行われたが、そのうち最後に登場したK.G.-Capoeiraは、見事なカポエラを披露し、会場を沸かせた。

カポエラは、楽器を奏で、歌を歌いながら、2人1組で蹴り合う演舞。K.G.-Capoeiraは、最初はスローテンポで徐々にテンポを速めていく曲調で、とくに最後の舞は圧巻の一言。体操選手並みのアークフイーが贈られた。

上ヶ原編

新月祭'03 ~恋して開学、愛して開学~

大盛況★

神戸三田キャンパスでの興奮冷めやらぬ中、10月31日から上ヶ原キャンパスで「新月祭'03」が始まり、11月3日までの4日間、キャンパス各地で賑わいを見せた。

模擬店は、今年は過去最大規模、およそ1000もの店がずらりと並んだ。学内のあちこちで「...はいかがですか?」とチケットを売る姿が見られ、来場者との交流を楽しんでいる様子だった。

企画に関しても、学生会公認団体による催し物をはじめ、学内各所でライブや展示など様々な企画が行われた。なかでも11月1日には、6総部1自治会主催の「プロジェクトK.G. ~来て見てなろう! カンガクイズ王~」が中央芝生で行われ、クイズ大会と併せて学生会に関するプレゼンテーションが行われた。また2日には体育会覇業交歓が行われ、中央芝生に体育会員が一同に介し、この一年間の戦績を称えあった。

大学祭最終日の後夜祭ライブは、朝から雨が降り動向が気になるころであったが、無事行われることに。悪天候にもかかわらず中央芝生は約5000人も観客で満員となり、ゲストであるクリエイティブバンドとともにライブを楽しんだ。また同日に行われた応援団総選挙、広告研究会の「K.G. CRESCENT JOURNAL」には、多数の観客を動員。ホームカミングデーということもあり、同窓生も多数来学。最終日らしい賑やかな雰囲気、今年度の大学祭を締めくくった。



上ヶ原でも開幕! 新月祭'03

KSCでも行いました 6総部1自治会主催

プロジェクトKG

~来て見てなろう! カンガクイズ王~

「関学の学長のフルネームは何?」そんなクイズ問題が聞こえてくるのは、6総部1自治会(応援団総部、宗教総部、新聞総部、総務放送局、新開総部、総務部、学芸部、文化総部、法学部学生自治会)による共催企画「プロジェクトKG ~来て見てなろう! カンガクイズ王~」。10月26日に神戸三田キャンパスの第一厚生棟前で、11月1日上ヶ原キャンパスの中央芝生でそれぞれ行われた。

優勝者にはデザインスクールズベアチケットという豪華賞品が用意された。6総部1自治会ご自身のクイズ大会。クイズ問題は関学に関連することから出題、それらを通して関学への関心や問題意識を持つてもらおうというものである。参加資格者は、開始時間までに会場に集まった学生ら全員で、○×クイズ、借り物クイズ、そして決勝戦の早押しクイズと、3つのクイズステージが用意され、正解の発表ごとに一喜一憂する学生姿が見られた。

ちなみに出題された問題は、「校歌『空の翼』は山田耕筰が作詞した(答:×)」、や「上ヶ原キャンパスの下には新幹線が走っている(答:○)」、「6総部1自治会の1自治会は何学部自治会?(答:法学部)など。また、クイズの途中に学ラン姿に身を包んだ8人組、『武士團』が登場、気志團の「One Night Carnival」の曲に乗せて踊り、会場を沸かせた。そして、このイベントの中で、主催者の6総部1自治会による、学生会再建に関する話をした。

最後に、このイベントのチーフを務めた竹内佑次さん(社2)は、「イベントを一言で表現するのは大変でしたが、皆さん楽しんでいただくことができたならば幸いです」と話した。

「あなたの人生が変わります 開運占いフェスティバル」

「あなたの人生が変わります」と。11月1日と3日、占い研究会による「開運占いフェスティバル」が上ヶ原キャンパスのC号館204教室で行われた。

このイベントは、プロの手相鑑定士が恋愛・性格・仕事・将来・開運の時期を占ってくれるというもの。ものすごく当たるという評判だが、診断料はたったの300円。値段的安さもあって診断を待つ人の列は途切れることがない。また、女性に限らず男性の姿も目立っていた。

自分の番が回ってきたら皆手を差し出し、眼差しは真剣そのもの。果して占いは評判通り当たっているのか。

「えーっ、そう?」「信じられない!」の声が響く。この占いは本当に人生を変えるかも...

あなたの人生が変わります

開運占いフェスティバル

11月2日と3日に室内管弦楽団バロックアンサンブルに「風の谷のナウシカ」の主題歌である「風の伝説」や、同じくポピュラーな「情熱大陸」のテーマ曲も演奏された。このような、名曲揃いの中にも意外性のある選曲は観客たちにも受けていた様子であった。

コンサートの間、観客たちは目の前で繰り広げられるメロディにじっと耳を傾け、1曲の演奏が終わるたびに大きな拍手を送った。プログラムに組んだ曲も名曲揃いであったが、やはり、優雅さの中にも躍動感を秘めた楽団員たちの演奏が際立っていた。コンサートの終了時には惜しみな拍手がランバス記念礼拝堂を包んでいた。

「優雅さと躍動感のハーモニー バロックアンサンブル」

11月2日と3日に室内管弦楽団バロックアンサンブルに「風の谷のナウシカ」の主題歌である「風の伝説」や、同じくポピュラーな「情熱大陸」のテーマ曲も演奏された。このような、名曲揃いの中にも意外性のある選曲は観客たちにも受けていた様子であった。

コンサートの間、観客たちは目の前で繰り広げられるメロディにじっと耳を傾け、1曲の演奏が終わるたびに大きな拍手を送った。プログラムに組んだ曲も名曲揃いであったが、やはり、優雅さの中にも躍動感を秘めた楽団員たちの演奏が際立っていた。コンサートの終了時には惜しみな拍手がランバス記念礼拝堂を包んでいた。



ジャズライブ 図書館前が会場です



ジャグリングのJunya Yamadaさん 総務放送局のイベントでも登場です



模擬店団体のみなさん カメラに向かってハイ、チーズ!



デザイングループの展示 個性豊かな作品ばかりです

学祭風景

'03

in 上ヶ原

大学祭もいよいよ最終日。応援団総部祭や後夜祭ライブに加え、ホームカミングデーにも重なったこともあって加茂周氏の講演会がこの日に行われるなど、目玉企画が集中した。しかし、午前中からあいにくの雨。大学祭実行委員会委員やボランティアの学生が、雨に打たれながら後夜祭ライブの準備や警備、撤収に追われることとなった。

We Love

雨天 決行!!

約5000人の観客とともにヒートアップ！
クレイジーケンバンドのライブ

クレイジーケンバンド!!



大学祭の最終日の11月3日、上ヶ原キャンパスで新月祭'03大学祭実行委員会企画「中史学生大音楽劇場We Loveクレイジーケンバンド」が開かれた。

開演1時間前となる開場の時間帯には、早くも多くの観客がライブ会場である中央芝生に集まり、うなぎ上りになっていく。彼らの人気がうかがわれるとともに、これから始まる熱いライブを予感させた。しかし、開演を待たずに降り出した雨。集まった観客らは、タオルを頭に巻いたり傘をさすなどして待つハメに。それでもやはり開演時には、中央芝生は多くの観客で埋め尽くされていた。

1曲目は、「美人」。拍手と歓声が沸き起こる。会場は、ボーカルである横山剣さんの迫力ある心地よい歌声と不思議でノリのよい楽曲に包まれていった。その後もバワフルなのに心地よいメロディー、そして子供のように走り回る彼らに、皆引き込まれていく。そして、「夜のヴァイブラート」では生演奏バージョンを披露。不思議な艶のある曲調が会場に響いた。さらに、関学の時計台がバックに使われた携帯電話のCMソング「あ、やるときやらないさやダメなのよ。」では、実際に時計台をバックに本人が登場するという夢の共演が実現。手拍子が沸き起こるなど大いに盛り上がり、観客も大満足だったようだ。

しかし、降り続いてきた雨が激しさを増し、会場を後にする人も、「皆さんには雨がきつくなつて申し訳ないんですけど、その分頑張りますので」とメンバー。その言葉の通り、雨でやむなく立てられた舞台のテントハウスから、メンバーが出てくる場面も多々、逆に会場は一体となったようだった。

ライブに重点を置くバンドだけあり、MCも相当盛り上がった。メンバーの自己紹介ではギター演奏などの見せ場も。「イイネー」「だっふんだ」などの掛け声とともにユニークで元気いっぱいの彼らだった。そして16曲の演奏が終わったところでひとまず終了。しかし、会場からの熱いアンコールで、再び登場。たっぷりのショーと2曲を歌い終わるも、鳴り止まぬ拍手に再度登場。会場は大興奮の中、CMソングとなった代表曲「クリスマスなんて大嫌い!!」「クリスマスなんて大嫌い!!」を熱唱。ライブは大盛況の中、幕を閉じた。

魂のステージ！

応援団総部祭 2003

新月旗の下に

大学祭期間中に行われ、例年大きな盛り上がりを見せる応援団総部祭(指導部・吹奏楽部・チアリーダー部)の総部祭。今年も「応援団総部祭2003」新月旗の下に」が11月3日に行われ、あいにくの雨にもかかわらず大勢の来場者が会場の中央講堂に詰めかけた。

日頃の応援活動の集大成を発表する総部祭は、各校「A Song for Kansai」から始まり、吹奏楽部の演奏に乗せて指導部とチアリーダー部が演舞やチアリーディングによるステージを披露した。プログラムにはおなじみの応援歌「新月旗の下に」をはじめ、

現在、応援団総部は、指導部の部員が減少し厳しい状況にある。しかしそんななかでも、森本和久団長(法4)はじめ団員たちは、一糸乱れぬ素晴らしいステージを観客の前で披露してくれた。

魂のこもった最高のステージに、観客も惜しみのない拍手で応えた。「初めて来たんですが、とにかくすごかったです」と話すのは他大学の学生。今年が2回目という東大の男性も、「昨年と比べて人数が減ってしまったのが残念ですが、迫力があって楽しませてくれました」と話していた。



来たる 加茂周

~Dream assists your future~



11月3日11時より、関西学院大学同窓であり、元サッカー日本代表監督である加茂周氏によるトークショー、新月祭'03大学祭実行委員会企画「Dream assists your future」が行われた。会場である上ヶ原キャンパスの中央講堂には、同窓生や男子学生が多く詰めかけた。

「ただ何となく関学に入った」という加茂氏が、サッカー部に入部したのは何と2回生になってから。1回生の頃は真面目だった加茂氏が、部活動以外にも好きなことができてしまい、だんだんと教室にも行かなくなった。しかしサッカー部を辞めるといふことはなく、引退まで諦めずに続けたことが、その後の人生の支えになったという。

30代になり、FIFAコーチングスクールに通い始める。そのうちに「サッカーの指導がおもしろくなってきた」「これは人生の仕事なのでは？」と感じた加茂氏。これが、その後の人生を変えるきっかけとなる。

「仕事が1つ終わっても、また仕事がある。24時間仕事がある、それがコーチというもの」と加茂氏は教えられる。この言葉を、加茂氏はコーチとしてサッカーに携わる中で



常に頭に置いておきたい。また今のサッカー界については、「昨年のワールドカップでの活躍は大きなことでした。韓国のベスト4入りでアジア勢も努力すればできるんだという希望が持てるようになりました」と振り返った。そして、「サッカーはラグビーなどと違って、ヨーロッパの選手などの体格差、スピード差は、技術、戦術でカバーできます。それを積み上げていけば不可能はない。いつか日本のサッカーが世界の頂点に立つ日が来てほしいですね」と語った。

質疑応答の時間には、多くの手が挙がり、盛り上がりを見せた。「期待する選手は？」という男子学生の質問については、「やはり中田ですね」と即答。「次のワールドカップではどこまで狙えますか？」という質問には、「ワールドカップの後、マスコミが次はベスト4などと騒いでいますが、ベスト4入りすることはそんな簡単なことではない。しかしベスト16には

「関学って?」 K.G. クレセントクイーン

「関学って?」と聞かれたときあなたは、何と答えるだろうか?

大学祭最終日の中央講堂前。あいにくの雨にもかかわらず、ひと際視線を集める人々の列。行列してまでも盛り上がるイベント。それは、広告研究会主催の「K.G. CRESCENT QUEEN '03」。「関学を広告できる関学生」と題して催されたこのイベント。これは、事前公募により集まった5名の現役女子学生らが、関学の「広告塔」としてその中からより広告塔としてふさわしいと思える女子学生を来場者の投票から選出する、という形式である。

出場者には、それぞれ個性豊かな学生が揃った。来場者には彼女たちをより知ってもらうため、個別に撮影してもらったプライベート映像、内面をアピールするための心理テスト、そして自分を一番表出せる服装に着替えてのファッションショー。彼女たちの広告塔としての魅力が引き入ってほしいと願って、「何となく」にこやかに答えた。

「体が続く限り、現場で頑張りたい」という加茂氏。「勝利には運もあります。しかし運を呼び込むためには人一倍の努力が必要」。この言葉が印象的だった。

最後に私たち関学生へのメッセージとして、「今の若い人たちは、俺が俺だ!と個性を張って答えることができないと思います」と現状を指摘しながら、「皆さんもこれから色々な変化があると思います。何か変化があったとき、自分の生き様はこうだ、と信じてやっていけば、後悔もよりに少なくなります。1日1日を大切に過ごしてください」と締めくくった。

出され始めるとともに、会場も盛り上がりを見せた。また、ゲストとして迎えられた人気漫才コンビ「ビッキーズ」の軽快なトークにより会場からは笑いが絶えなかった。

そしていよいよクイーンの発表。明かりが消され、会場が一時の静寂に包まれる。スポットライトを浴びたのは、上園小雪さん(文3)。ファッションショーでは、歌を歌うことが特技という彼女らしく、昨年の軽音サークルで着たという不思議なキュートな衣装で自分を表現した。趣味はアロマテラピーという彼女。穏やかでありながら、しっかりと自分をアピールできる彼女はまさに「関学の広告塔」といえる。優勝者には昨年のクレセントクイーンからマントと王冠、そしてたすきが授与された。

このイベントのコンセプトは、関学をより知ってもらうこと。そして、「関学とは何だろうか」と、関学と自分との関わりを学生ひとり一人に問いかけるものであった。「関学って?」と聞かれたときに、学生である私たちは何と答えることができるだろうか。私たち関学生、ひとり一人が「関学の広告塔」であり、「関学って?」と聞かれたとき、胸を張って答えることができたその一人の答えこそが、関学のキャッチフレーズとなる。物事との関わりが淡白になりつつあるなか、この問いを素通りしてしまおうのではなく、足を止めて考えを巡らせてみてはどうだろうか。そうして足しを止めることは、新たな自分を知ることにつながるかもしれない。



時計台写真つき切手発売中

好評



関学の時計台の写真付き切手(写真)が11月から生協で発売されているのを知っているだろうか。この切手にはさまざまな意図が込められている。切手制作に関わった総務部校友課主任の宮脇貢さんに話を聞いた。

関学の学生、教職員をはじめ、20万人の同窓生や地域住民など関学に関わる多くの人々のことを思い、常にみんなに喜ばれることを考えてきた校友課では、以前から関学オリジナルの切手を作りたいという思いがあった。関学創立100周年の時に記念切手を作ろうと企画するが、郵政省の審査は厳しく、許可は下りなかった。しかし今年、郵政公社となりサービスが拡大され、個人でも申し込みをして、切手の下に自分の好きな写真を付けることができるようになった(以下、写真付き切手)。

このサービスを知った校友課では、早速関学の写真付き切手を作ることになり、郵政公社となりサービスが拡大され、個人でも申し込みをして、切手の下に自分の好きな写真を付けることができるようになった(以下、写真付き切手)。

10点の写真はすべて関学のシンボル。時計台を前面に打ち出したデザインとなっている。はじめは神戸三田キャンパスの風景など、関学のカラーのイメージに合わせたデザインだったが、象徴である時計台を存分に楽しむことができる。

この写真付き切手制作には生協や同窓会など多くの人の協力を得て、手にした人に本当に喜んでもらえるものを作ることができたのではないかと、この切手に自分の思いをのせて、ゆかりの人に手紙を送ってみてはどうだろうか。

KGネットはとってもおトク!!

ベーシックコースで行こう!

関学生のためのインターネットサービス「KWANGAKU.NET」(以下、KGネット)が4月からスタートしたのはもう皆さんもご存知の通り。今回はKGネットの新コースについて紹介。

新コースの名前は「ベーシックコース」。その名のとおり、今後KGネットの基本となるコースである。初期費用無料、月々500円(関学カードでの申込みなら月々450円)でKGネットならではの次の特典、サービスが利用できる。

まずは、関学生だけのメールアドレス(@kwangaku.net)がもらえる。在学中はメールアドレスは、在学中はメールアドレスとして、就職活動やクラブ、サークル、ゼミ活動での連絡先として利用、卒業後は仕事からプライベートまで、安心して使えるメールアドレスである。学生時代に作ったメールアドレスが卒業後も生涯アドレスとして半永久的に利用できるのだ。

なお、このメールアドレスに届くメールは、大学のPC、インターネットカフェ等プライベートなインターネットの環境がない場合、メールソフトを利用してできない場合でも、Webブラウザ(Internet Explorer等)を利用して受信することができるし、もちろん送信することも可能である。メールを送受信した後パソコン上にデータが残らないのでセキュリティ面でも安心。また、携帯電話(Docomo, vodafone, au)からの利用も可能であり、外出先等でも簡単にKGネットのメールアドレスの受信・返信・転送も用意されている。

さらには、KGネットでは体験できないコンテンツも満載である。関学での主要な行事をレポートした「KGレポート」。毎月の関学の表情を写真にてお届けする「KGナウ」。そして、現在活躍中の同窓生を直撃レポートし、社会人としてのノウハウや成功の秘けつを伝授する「KG同窓生レポート」。さらには、KGネットオリジナルの壁紙、スクリーンセーバーのダウンロードサービスを提供する「KGダウンロード」などがある。

もうすでにインターネットに接続されている方は、このベーシックコースがお勧め。今なら、「関学オリジナル携帯電話着信モニター」がもらえる。申し込みは学生証を持参の上、関学学生会館(保健館隣)内KGクレセント窓口へ。(神戸三田キャンパスは生協受付)

関学ネットと関学カード(学生用)は来年1月19日から21日の10時から15時までの間、旧学生会館1階の生協サービスカウンター前で、カードでネットにKGアクセスできる。詳しい問い合わせは、KGクレセント(0798-54-XXXX)まで。

関学生のためのインターネットサービス
関学ネットは関西学院大学新聞総部をサポートしています
つながる、ひろがる、関学ネット
KWANGAKU.NET

中芝の美観のため?! 管理徹底される掲示板



リニューアルしました。

中央芝生付近の2つの学生会掲示板(中央講堂横、神学部・文学部棟間)が、11月下旬にペンキが塗り替えられキレイになったのを知っているだろうか。画びょうが何本も刺さったままであるにもかかわらず、印象だったが、学生会公認団体の間で掲示板の管理を徹底することを条件に、ペンキが塗り替えられることとなったのだ。

大学は中央芝生付近の美観に常に気を遣っており、今年の春には中央芝生周りの立て看板置き場が銀座通りなどに移動することとなった。ただし新歓と大学祭シーズンには中央芝生に立て看板置き場が設置できる。

しかし、中央芝生付近の学生会掲示板は学生の目につきやすい。そのため、学生会公認団体側は、掲示板を塗り替えずに、ペンキを塗り替えてほしいという要望を大学側に伝え、了承を得た。その代わりに学生会公認団体間で掲示板の管理を徹底する運びとなったのである。

今後、学生会掲示板の掲示物に関しては、同じ内容のものも一枚とし、設置日を記入したうえで期間は1ヶ月までとしている。また学内団体のみで掲示をすることができ、違反した掲示物は管理担当団体によって処分されることとなる。

看板置き場が設置できる。そしてこの度、中央芝生付近の学生会掲示板に際しても、外観が汚い、そして学生の管理が不徹底であるという理由で学生会公認団体に撤去したという話を打ちかけた。

しかし、中央芝生付近の学生会掲示板は学生の目につきやすい。そのため、学生会公認団体側は、掲示板を塗り替えずに、ペンキを塗り替えてほしいという要望を大学側に伝え、了承を得た。その代わりに学生会公認団体間で掲示板の管理を徹底する運びとなったのである。

2004年1月9日に神戸三田キャンパスで、13日から16日にかけて上ヶ原キャンパスで「冬の献血週間」を実施する。テーマは、「つながりを深める、大切にしよう」。

宗教総務部献血実行委員会は、12月15日(月) 10時~11時 中央講堂
12月16日(火) 16時40分~18時30分 中央講堂 中央芝生
関西学院クリスマス礼拝
音楽で祝う降誕祭
12月17日(水) 16時30分~18時30分
関西学院バロックアンサンブル・クリスマスコンサート(ランバス記念礼拝堂)

何か物足りない人へ...

何時だって...部員募集中!

部室：新学生会館3階
kgpress@kwangaku.net
http://member.kwangaku.net/kgpress/

12月19日(金) 16時30分
ランバス記念礼拝堂
関西学院聖歌隊・メサイアコンサート
12月18日(木) 18時30分
21時 ザ・シンフォニーホール
関西学院クリスマスコンサート
12月16日(火) 16時40分
ザ・シンフォニーホール、参加費2000円。チケットは関学生協サービスカウンターなどで発売。
12月25日(木) 18時30分
西宮市プレラホール
ハンドベルクワイア・クリスマスコンサート

就職活動に想う

文部科学省と厚生労働省の調査によると、来年春に卒業する大学生の就職内定率は、60%だという。同時に、大学を卒業して就職した若者が最初の会社を3年以内に3割離職するという。「就職活動氷河期」と言われて既に久しい。今年もまた、3回生にとって就職活動が本格化しようとしているこの時期に、改めて「就職活動」について考えてみたい。

就職という選択

就職活動をするとなると、「どの会社に就職するか」という選択が必要になる。だが、それ以前に「就職活動をするかどうか」の選択をする必要がある。大学を卒業してから一般企業に就職する以外にも、大学院への進学、公務員を目指す、会計士や弁護士などの仕事に直接する資格を目指す、自分で起業する、そし

就職活動は運と縁

今年の春に本学を卒業し、現在金融関係の企業に勤めるある男性は、就職活動を振り返って次のように語る。「就職活動はルーレットのようなもの。就職活動をしている人の意志に関係なく、ある程度時間がかかれば自然と枠（企業）に入れるようになる」といいます。この男性も第一志望の会社からは内定がもらえず、就職活動で苦労をしたようです。

生き方を探す 自己分析

就職活動をしている中で「自己分析」という言葉を耳にすることがある。「自己分析」のマニュアル本も多数販売されている。それらに本に従って作業を進めることが「自己分析」なのだろうか。「Placement Times」の10月14日号にも記載されていることではあるが、「就職活動」とは生き方を見つけないことだ。ならば、「自己分析」とは「就職活動のためにやる」のではなく、「生き方を探すためにやる」のだ。マニュアル本に記載された小手先の面接技術に惑わされず、この先どうしたいか、どうなりたかを決めてから就職活動をするのがいい。

扉の言葉

師走に入り、部活の引退が近づいて、就職活動の足音をひしひしと感じつつあるこの頃、ふと思ふことがある。大学に入学してからこれまでの3年間は自分にとって果してどういうものだったのだろうか。長かったのだろうか。それとも、短かったのだろうか。辛かった思い出だけを取り出せば、これまでの道のりは長かっただろう。楽しかった思い出だけを取り出せば短かっただろう。この3年間、一言では言い表せない、非常に多くの経験をした。なかでも、この新聞総務部で得た経験は、かけがえのないものがある。

満足という思いはある。だが、「自分がこの3年間で何を成し遂げ、後輩に何を残したのか」と問われれば、まだ未練が残るのである。人の一生が、大学生としての3年は大抵、そう思うと、まだまだ積み残したことがある。しかも、時間は待つてはくれない。限られた時間を存分に活用した人物で、高杉晋作ほどの人物はおそらくいない。幕末という激動の時代を烈火の如くくぐり抜け、27年8ヵ月という短い人生を明治維新のために捧げた晋作。彼が奇兵隊を創設し歴史の表舞台に立つてから、肺結核で亡くなるまで、何と4年にも満たない。そのわずかな年月でありある活躍をした彼を、かの伊藤博文は「動けば雷雨の如く、発すれば風雨のごとし」と称している。

ここで筆を落としてしまつた。そこで、晋作の側にいた望東尼が下の句をつけた。「すみなすものは心なりけり」おそろく晋作の真意とは若干異なるのかもしれないが、これはこれで感慨深い。人生どんなにつまらないものかとして、自分の心次第で面白くしく過ごすことができるという事なのである。

そういえば、この3年間、様々なことに取り組んで来たものの、己の限界を知らずにはそこから逃げてきた面があった。それが、ここに来て未練を残す結果となって現れたのだろうか。そして、将来また同じ思いをするとも言い切れない。しかし、「面白きこともなき世を面白く」という心さえあれば、この先何があつたつて乗り切れるし、そして後になって悔いを残すこともないと思えるのだ。今後はそういう精神で、限られた残りの大学生活を踏みしめ、そしてこれから先の人生を邁進していききたいものだ。

あー、今年のクリスマスもバイトかあ…。(独り身)

今年1年は早かった…。しかし、20代はもっと早い。(コア)

最近三国志にはまっています。曹操は男のなかの男で。(りょう)

いやー、今回はいろんなことがあつて大変だったなあ。まあ過ぎたる今はそれでよし！(山本山)

息が白くなってきましたね。早く雪降らないかな☆☆☆(ネコ)

留学生の皆さん、先生方、クリスマスの取材協力ありがとうございました☆(カワ)

教授の背中

中西正雄 商学部 教授



「元素発見物語。少年期の中西正雄教授が夢中になった本だ。通信簿に情緒不安定と書かれた経験を振り返り、活発な自己を持つ中西先生。夏休みの宿題は提出しない、スポーツは苦手、本ばかりを読む少年だった。」「科学者になりたかった」

事情により神戸大学経済学部へ入学し、少年期に夢見た自然科学から目をそらした。「この時、ある意味で見切りをつけたのかもね」と、先生は語る。大学卒業後、伊藤忠商事に入社。社内で事務処理をこなす。後輩ができてからは、後輩に仕事を押しつけた。ある日、後輩が仕事に対して「別のやり方の方が効率的では？」と言いつつ、「何言ってるんだ？」と先生は思ったが、後輩が上司に独自の案を述べると、それは採用となった。

「目が覚めた」。後輩のこの事件が先生を揺り起こした。先生は、与えられた仕事をこなすだけの部品と化していたことに気づいた。そして、「自分」を発見するためアメリカへ自費留学する。カリフォルニア大学ロサンゼルス校経営学部へ入学。渡

米したが最後。会社を辞め、学生へと若返りを果たした。カリフォルニア大学では、当時まだ新しい分野であるマーケティングを学ぶ。何も解らないからおもしろい、理論が少ないうえ好き勝手に学べる、というのが選択理由だ。学士取得後、MBA(経営管理修士)を取得。博士号を取得後、ビジネススクールの教員となる。

「青春時代はアメリカで過ごした時」と、当時を振り返る。教師として採用されたとき、4〜5名の若手教員と同僚になった。彼らと、狭い研究室で10セントのコーヒーを飲みつつ、何時間も語り明かした日々。奥さんは「あのときはいつも興奮して帰宅していた」と当時の姿を先生に話している。初めての授業は3日間かけてノートを作成するが、90分の授業は45分という猛スピードで授業が完了してしまつた失敗談。「以後、講義ノートは作らなくなつた」と、笑いながら教えてくれた。また、ロッキード社の副社長など経験に富んだ学生も多く、教員として張り合いを見つけた。内面的にも、研究面でも刺激を受け、自分の性格を形作る時期でもあつた。

1976年、帰国。知り合いの教授の紹介により、本学へ赴任。当時、日本でもマーケティングは新しい学問であり、その分野の先駆者的存在となる。長年の海外生活のため、逆カルチャーショックを受け

なかにし・まさお
1936年(昭和11)年12月30日 大阪市生まれ
最終学歴：カリフォルニア大学ロサンゼルス校経営大学院

「Do Your Own Thing」＝「おまえ自身を見せよ」と。先生はこの言葉を学生に伝えたいという。自分の潜在能力を發揮しようとする。そうすれば能力を生かすチャンスは訪れる。例えば、先生の目を覚ましてくれた後輩のように、上司に与えられた仕事であっても、そこに「自分」というプラスαを加えることである。サラリーマン時代、みつめることを避けていた「自分」。先生はアメリカでの生活を通して、再び「自分」と向き合い、新たな「自分」に巡り会った。

先生は今年で67歳。来年度より外国人留学生の授業を受け持つため、英語力をブラッシュアップしている。ゲームとミステリー小説が趣味の先生。昨年、滞っていたオックスフォードは小説「モース警部」シリーズの舞台であると熱心に語る先生の笑顔は、科学少年のキラメキそのままだ。

仁川でカルガモの親子見ました。感動…。(星ひゅー馬)

あのまなかなが、来年後輩になるなんて…。世間は狭いっすね。(Aシヨ)

卒論を誰か代わりに書いてください。僕の力だけではもうだめば…。(学相大好き)

今回で編集長引退です！ 今まであんなことからこんなことまで経験しましたが、これでやっと真人間に戻れます(え、まだだつて)。次回から1年間は新しい編集長が頑張ってくれるそうなので、皆さんどうか温かい目で見守ってあげてください…。(しばっち)

幻想的なイルミネーション、かわいいお菓子や素敵なプレゼント。街全体がクリスマス一色に染まるこの時期。皆さんの予定は決まりましたか?でも、クリスマスの本当の意味が忘れられがちな日本。ツリーやサンタのルーツって?他国ではどんなのだろう?ここでは知っているようで、意外と知らなかった色々なクリスマスを紹介しします☆

あなたは、クリスマスツリーとサンタクロースについてどれだけ知っていますか。

★クリスマスツリーの起源

クリスマスツリーの起源は何となく知っている...けれど、クリスマスツリーの起源はどうか?なぜモミの木なのか、いつからあの飾りつけがされるようになったのか。その起源は古代ヨーロッパの樹木崇拜という観念にさかのぼる。

この崇拜がキリスト教と結びついた、というのが一説にある。それは「善悪の知識の木」(旧約聖書)と結びついている人間の原罪が、キリストの生誕によってあがなわれ、この木がその象徴となったからである。常緑樹であるモミの、その不変の緑色が不

★サンタクロースの起源

赤いコスチュームに身を包み、長い白ひげがチャームポイントのサンタクロース。ところで、このサンタクロースとは一体何者なのだろうか。サンタクロースは、キリスト教の信者であった聖ニコラスがモデルとなっている。彼は、イエス・キリストにならって数々の善行を積み重ねていた。中世で最も人口にかいしゃされた聖人伝説集「黄金伝説」で彼の全貌は明らかにされている。例えば、遠くの町で結婚適齢期を迎えたある3人娘がいた。しかし、彼女たちの家は貧しいためお嫁に行きたくてもその支度金がなく、悲しみに暮れていた。やがてその噂は遠くニコラスの住む町にも伝わり、噂を聞きつけた彼は、夜に3人娘の家

★ドイツ

ドイツについては、大崎ドローア先生に話を聞いた。「ドイツ人にとってクリスマスは家族と過ごす大切な行事です。アメリカのようなパーティはしません。静かに家で過ごします」

24日か25日にミサへ行き、夜はこぢんまり。どこも七面鳥というのではなく、地方や家庭によってその日のメニューは違う。クリスマスのお菓子はフランス人のお菓子と

★フランス

フランス人の先生C・シェラス先生と留学生のセバスチャン・デュ克蘭さんに話を聞いた。

「クリスマスは、ほとんどのフランス人は、家族と一緒に過ごす」とデュ克蘭さん。先生とデュ克蘭さん。時計の針が24時を回ると家族全員で教会に出かける。教会では聖書を朗読したり、賛美歌を歌ったりする他に、キリストの生誕をストーリー仕立てにした劇が上演される。とても忠実に再現されているため、本格的で見応えがあるという。

Let's talk about Christmas!



日本でも売られているシュトーレン。長持ちするように生クリームは使わない。ドイツ特有のお菓子である。また「ドイツでは12月6日にサンタクロースがやってくるので、24日に子供たちにプレゼントするのは、キリストから、ということになっている」とデュ克蘭さん。

「クリスマスは祝日として、ほとんどの店は閉店し、街はひっそりとしている。家の中で自分達の幸福を静かに祈るのがフランス流だ。日本のクリスマスについてはどう思うか」という質問では、「最近、クリスマスは大阪のスカイビルに行ってきたけど、人工的に作られたクリスマスツリーや雰囲気には少しがっかりしました」とデュ克蘭さん。クリスマスは、日本人には痛れかけている日本人には痛いコメントである。フランス人にとってクリスマスは、きつと温かい貴重な時間なのだろう。

★中国

中国人留学生で、大連出身の愈香仙さんに話を聞いた。「中国では、クリスマスというと家族と一緒に過ごすというよりも、若いカップル達やデートをして過ごすというほうが一般的です。みんな、恋人には必ずプレゼントを渡しますね」と、気さくに答えてくれた愈香仙さん。

街では、クリスマスツリーが飾られ、クリスマス一色の雰囲気に乗るといいます。しかし、意外なことに、なぜか中国にはクリスマスにケーキを食べる習慣はあまりないという。それで、愈香仙さんは初めて日本でクリスマスをお祝いしたときに、多くの日本人がケーキを食べるということを知って、とても驚いたそうです。クリスマスには、山の果実で作った餡(日本のりんご餡に似たもの)を片手に、友達や恋人と話をしながら楽しもうと街を歩いている若者の姿がよく見かけられるという。

「最近の中国は活気があがるので、クリスマスはとても盛り上がりがありますね。若者の間では、友達同士などでクリスマスカードを贈り合うことが流行っています」と、愈香仙さんは終始笑顔で親切に話してくれました。

高度経済成長を背景に、中国のクリスマスは過ごす方も変わってきているようだ。

★韓国

韓国での一般的なクリスマスは、過ごし方は一体どんなものなのか。韓国文化研究会の鄭善淑さん(社3)に話を聞いた。

韓国では最近、キリスト教を信仰している人が増えてきているが、やはり仏教徒が多い。全人口の3分の2ほどを占めている。また異教徒間の結婚があまり歓迎されないなど、日本に比べて信仰心がとても深い。仏教徒はあまりクリスマスに関心がない。とはいえ、クリスマスにケーキを食べることはあるが、ツリーを飾ったり、プレゼントを交換したりすることはあまりない。

クリスマス絵本★

たまには難しい論文や雑誌を手放して、書店の絵本コーナーに行ってみよう。きつと、どこか懐かしい、心あたたまるクリスマス物語に出会えるはず。その中のオススメの1冊を紹介。

「いつもサンタが」小出真己・画

グラフィックデザイナーとして活躍中のサンタアーティスト、小出真己さんは本学の卒業生。サンタを描くのは、ずっと夢を忘れない大人でいたいから。ユーモアとクリスマスの温かさが溶け合う作品たち。あなたの想像力で、作品との対話を愉しもう。



一方、キリスト教の信者は24、25日も教会に行く人が多い。テレビでも教会で賛美歌が歌われている様子が夜遅くまで放映されたり、キリスト教文化がこの国にかなり浸透していることは間違いのないようだ。

日本ではクリスマスは商戦として扱われることが多い。観光スポットではイルミネーションをつけたり、百貨店はこぞとばかりにクリスマスに向けて商品をアピールする。それに比べて韓国では、クリスマスイベントとして捉えている。お祭りの感覚で、思う存分一年一度のクリスマス生誕の日を楽しむ。とはいえ24日は恋人と、25日は家族や友達と過ごすことが一般的という辺りは、日本とあまり変わらないようだ。

★オーストラリア

オーストラリア出身のグラント先生に話を聞いた。南半球に位置するオーストラリアでは、クリスマスは時期は夏に当たるので、暑いクリスマスはビーチで過ごす人も多いという。ビーチや家で、家族とランチやディナーを共

「クリスマスプレゼントとして、浴衣やのれんといった日本のお土産を持ち帰ったことがあるけれど、彼らは浴衣をシャワー後に着ているよ」と、笑顔で話してくれたグラント先生。

冬のクリスマスとは一味違ったクリスマスをおごせることは、オーストラリアの魅力である。



関学・神戸三田キャンパスから
一番近い AUTOMOBILE SCHOOL

授業のあいだに
★ ★ ★
楽々教習!
★ ★ ★

大学生協
サービスカウンターにて受け付け

お問い合わせは
お気軽にお電話で

TEL三田(0795)
62-2995(代)

SANDA AUTOMOBILE SCHOOL
SAS
SINCE 1963

公安委員会指定技能試験免除
三田自動車学院

大型科・普通科(MT・AT)・大型二輪科
普通二輪科(小型限定)・審査科(普通・自動二輪)